



朝 剣

発行:朝霞市剣道連盟(市武道館)
<http://asaken.suki-ari.net>
 編集:朝霞市剣道連盟事務局
 住所:朝霞市本町1-12-3朝霞市武道館
 連絡先:平井 hirai.shigeoh@mbm.nifty.com

再挑戦

朝霞市剣道連盟
 理事 櫻井英行

小学四年生の頃、両親からほぼ言われるがままに市の剣道教室で剣道を始めました。運動全般が苦手だった私は当時はどうにも好きになれず、週二日の稽古に向かう足取りがひどく重かった記憶があります。六年生に進学した頃、大会で少しは好成績を上げるようになった事で徐々に剣道が好きになりました。そのまま大学四年まで剣道部に在籍する事になりました。その後は特にはつきりした理由も無く十年間、竹刀も握る事も無く、ましてや再開する事も無いだろうと思っていました。

ある時、ふと母校の剣道部が気になり調べてみた所、男女共に全国レベル。「・・・あく俺らの時は弱小だったのにとどうとうこまでなつたのか」「監督は、コーチは今でも指導してるのかな」と「同期は剣道続けているだろうか」と、えらく当時の頃が思い起こされて、俺もやつた方がええかなア・・・と。

「朝霞市」「剣道」で検索したら近くにある事が判明。「よし、やるか」としまい込んでいた剣道具一式を引つ張り出し、早速メールで申し込み。晴れて十年越しのリバ剣勢となつたわけですが、気持ちは十年前にストップしたまま。ムリが祟つてふくらはぎの重度の肉離れで再び離脱する羽目に。十年のブランクは相当地に大きいなど実感したものです。

今思い返すと、大学まで十数年剣道を続けていたものの、はつきり言って良い部員ではなかったと思えます。普段の稽古はさぼったり、楽に「流す」事を考える時が多かつたし、気持ちがあく前向きでなかつた。稽古で泣かずに試合で笑う事は出来ないのです。これはもしかしたら剣道から離れていたからこそ見えた事なのかもしれません。以前の自分を見つめなおし、恐れず、迷わず、先生方からも子供達からも教わる気持ちを忘れず、全力で取り組む事。稽古とはそういう事だと思えます。そして今では週最低三日は稽古をしないと体調が悪くなる気がしてしまいそうで・・・。

これからの朝剣のさらなる発展の為に微力を尽くす所存ですので、これからも宜しくお願いいたします。

進級進学祝・先達者杯争奪剣道大会

三月十九日、進級進学祝・先達者杯争奪剣道大会が開催されました。大会に先立ち六年生による日本剣道形の披露がありました。今年は中学生も多数参加し、伝統ある大会にふさわしい盛り上がりつた大会となりました。また先達者杯は本橋真佑選手が勝ち取りました。



六年生による日本剣道形演武



基本の部



四・五年生の部



六年生の部



中学生男子の部



先達者杯決勝

昇段審査結果

2月26日(県立武道館)
 初段:伊藤丈喜、近藤翔太、本橋真子 二段:佐藤 瞬

大会結果

2月23日 第71回全日本都道府県対抗剣道優勝大会予選会(県立武道館)

出場選手(副将の部) 神尾祐一、畑中雄太、野崎勝聡、櫻井英行、近藤共泰

大会役員:内田 明 競技役員:新井誠治、青木暢之、江原 滋、鈴木孝昌、藪上和夫

事務局からのご連絡(4月の予定)

- 4/9 少年部、一般とも稽古はありません。入会式の予定でしたが延期します。
- 4/9 令和5年度定期総会(14:15~16:15 市武道館)

	優勝	準優勝	第3位	第3位
基本の部	森 弥生子	-	-	-
4・5年生の部	高橋大空	湯本咲仁	鈴木裕大	関 真士
6年生の部	山崎 錠	鳴川陽南太	金坂修弥	-
中学生女子の部	杉山 晏	斉藤羅姫	窪田 樹	杉内晴日
中学生男子の部	小山叶馬	水野 優	佐藤篤武	近藤翔太

先達者杯 本橋真佑



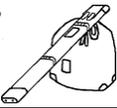
大会後の集合写真
 今日みんながんばりました。

【アンケート内容】

- ① 剣道を始めたのはいつですか？
- ② 剣道を始めたきっかけは何ですか？
- ③ 朝剣生活で一番の思い出は何ですか？
- ④ 最後に何か一言

中学進学あいさつ

今春、中学に進学される6名のみなさんに一言ずついただきました。みなさん、進学おめでとうございます。これからも精一杯がんばってください。今後の健闘を祈ります。



②① 二年生のちっちゃいころ、るろうに剣心のひむろにあこがれて剣道をはじめました。

④③ 県大会、合宿、豆まき朝剣、剣道、最高の仲間に出会えて、本当にうれしく思う、剣道をはじめたこと身についていること、これからの道にしようと思う。五年生、朝剣をよろしくおねがいします！



川村 亜藍 (52期)

②① 小学生のころ一級をとっていたので、ぼくもとりたかった。

④③ 先達者杯をとったこと！小学生の六年間、めっちゃ充実して、仲間にも恵まれた六年間で、みんなありがとう！



鳴川 陽南太 (51期)

④③②① 小学一年生、兄弟がやっていたから、滝登りは難しい。



山崎 錠 (51期)

④③②① 五年生です。テレビで剣道の試合を見て、ぼくも剣道を始めたいと思いました。

③ 体育館での三日連続の稽古です。最後の素振り三百本が記憶に残っています。

④ 先生たちや今まで支えて下さった皆さん、本当にありがとうございました。お陰で今までは、朝剣のことは生涯忘れることはありません。



田口 幸助 (55期)

④③②① 四年生、剣道に憧れていたから、錬成会交流試合きつい稽古でも、歯を食いしばって続けていれば、努力が実るということを学びました。ご指導くださった先生方、ありがとうございました。



金坂 修弥 (54期)

④③②① 三年生の終わり頃、CMで見たジャポニカ夏合宿の、2日目の遊びの時間が、六年生がいなくなってもがんばってください。



瀧井 康太 (53期)

六年生を送る会(中学進学学生vs.お父さんお母さんの親子大会)

三月十九日、「六年生を送る会」を開催しました。恒例の親子対決では、六年生チームと父・母チームの団体戦形式で行われ(当日は五名が参加)どの試合も熱い戦いとなりました。



川村対父



瀧井対父



金坂対父



全員で記念写真



山崎対母



鳴川対父